

Title	天文学界の雑報片信
Author(s)	
Citation	天界 = The heavens (1929), 9(103): 522-522
Issue Date	1929-09-25
URL	http://hdl.handle.net/2433/161470
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

天文學界の報報片信

太陽黒點の異常な活動 太陽の黒點は昨年八九月頃に活躍の頂上に達し、其の後一時衰へたが（去る五月九日の日蝕は此の衰への時機に當つてゐた）、本年の六月から俄然活躍し來り、八月中頃は 100 以上の相對數を示すこゝもあつた。しかし八月下旬からは又急に衰へた。三澤氏の旬報に據れば、黒點の平均相對數は

七月上旬	95.3	八月上旬	76.6	九月上旬	33.8
同 中旬	96.4	同 中旬	126.9	同 中旬	46.9
同 下旬	92.8	同 下旬	58.7	同 下旬	

此の八月の中旬にかのツェペリン飛行船がシベリアの北極圏を通過して、オーロラを見たこと諸新聞に報じられたが、近頃到着のドイツからの報告にも、八月十六七日頃にはゾンネベルヒでオーロラが見えた由。此のオーロラが上記の太陽黒點活躍期に相當してゐるのは面白い。

彗星だより 前號に報じたニウジミン彗星 1929b は其の後 M エーベル氏の算出した軌道に據るゝ、長半徑 5.23 單位、離心率 0.600、週期 11 年 983 日といふので、小遊星の類に似てゐる。又、フォルベス彗星 1929c は一時其の眞疑を疑はれたが、其の後確實に觀測され、軌道は近日點距離 1.546 といふ橢圓形であること H. E. ウッド氏によつて算出された。光は 11 級。故に之れは月さへ無ければ、小望遠鏡でも見えるものらしい。

池田政晴氏と山本英子氏 共に今回京都帝國大學天文部の研究補助囑託になられた。池田氏は主として天文學教室で、又、山本夫人は主に花山で働られる由。

宮森作造氏 今回大阪の一書店から「ポケット星座早見」といふ可愛い星圖を出版された。星圖中の星の撰擇や、圖のデザイン等に於いて三省堂出版の星座早見に優る點が多い。價格も安い。

關口鯉吉氏 國際氣象會議に日本代員として先頃出發、ヨーロッパへ行かれた。